

# 事業実施報告

開催日	第1弾：令和4年9月4日(日)、11日(日)、25日(日) 第2弾：令和4年10月16日(日)、23日(日)、11月6日(日) 第3弾：令和5年1月8日(日)、15日(日)、22日(日) 計9回		
事業名	親子日帰り事業 (第1弾：1089(テンパーク)探検隊 第2弾：1089(テンパーク)探検隊DX 第3弾：1089(テンパーク)探検隊DX・スノーシュー)		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	798家族2,649名 (第1弾：460家族1,534名 第2弾：262家族866名 第3弾：76家族249名)
対象	幼児・小学生とその家族		
関係機関名	なし		

## 状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

### [事業の内容]

- ・第1弾から第3弾を通して、屋外活動の「テンパークスタンプラリー」と屋内活動の「謎解き1089探偵団」を同時開催した。
- ・「テンパークスタンプラリー」は、国立岩手山青少年交流の家の敷地内に設置されたスタンプを捜索し、配布したスタンプ台紙『1089(テンパーク)冒険記』に押印する活動である。今年度より30個スタンプを増設(第1弾で15個増設、第2弾でさらに15個増設)し、捜索範囲によってショートコースとロングコースを選択して活動を行った。増設したスタンプのデザインは、令和3年度日帰り事業第3弾のチラシ裏面及びホームページで募集したデザインの中から、独自性、表現性等の選考基準を満たしたものの中から選定した。募集したすべてのデザインは、館内に掲示した。
- ・「謎解き1089探偵団」は、国立岩手山青少年交流の家館内に設置された80枚のチェックカードのうち、50枚のチェックカードを地図を見ながら探し出し、チェックカードに書かれてあるひらがなを並べ替えて謎解きをするという活動である。問題用紙は、探し出すチェックカードや謎解き問題の異なる3種類を作成し、難易度の低いものから「新人探偵」「探偵」「名探偵」とした。
- ・親子で協力して捜索する様子や、本事業に複数回参加してコンプリートを目指して取り組む様子が見られた。

### [成果]

- ・第1弾は460家族1,534名、第2弾は262家族866名、第3弾は76家族249名、合計798家族2,649名の参加があり、多くの参加者にプログラムを提供することができた。
- ・本事業に2回以上来場した人数(リピーター)は1,319人で、全来場者の49.8%であった。「テンパークスタンプラリー」では、昨年度よりも活動エリアを広げ、スタンプを30個増設したことにより、多くのリピーターを獲得できた。また、「謎解き1089探偵団」では、探し出すチェックカードの組み合わせと謎解き問題について、各難易度ごとに毎回異なるものを提供したことで、多くのリピーターを獲得できた。
- ・第3弾では、「テンパークスタンプラリー」に使用するスノーシューの着脱方法および注意事項に関する動画を作成、常時放映した。その結果、スムーズかつ安全にスノーシューを使用することができた。
- ・事業全体の満足度について、該当項目に回答のあった参加者のうち84%の参加者から「満足(最上位)」評価をうけた。また、「やや満足」評価とあわせて100%の満足度評価を達成することができた。
- ・「早寝早起き朝ごはん」国民運動に関するリーフレットを配布し、本運動の普及啓発を図ることができた。

### [課題]

- ・テンパークスタンプラリーは来年度より当施設の活動プログラムとして提供することが予定されているため、説明資料を分かりやすくすることや、貸出物品の整備をする必要がある。
- ・テンパークスタンプラリーの活動範囲には、コースによって一部熊払いが必要な範囲が含まれる。また、この範囲は冬季は積雪の影響により安全管理が必要である。活動プログラムとして提供する際は、夏季は熊払いの実施、冬季は落雪の注意喚起等の安全管理を徹底する必要がある。
- ・屋外に設置しているスタンプBOXの整備を継続して行う必要がある。スタンプ本体の清掃、スタンプBOXの風化防止対策を行う。
- ・屋内に設置しているチェックカードの点検を継続して行う必要がある。剥がれたり薄れたりしたものについては張替えを行う。

## 状況写真



受付の様子



ルール説明の様子



謎解き1089探偵団の様子



第1弾1089スタンプラリーの様子



スノーシューの装着を指導する



第3弾1089スタンプラリーDX・スノーシューを行う様子